

令和6年度 学校自己評価シート

令和7年3月
県立篠山東雲高等学校

<p>(1) 教育目標</p> <p>ア『愛の教育』の推進 分校時代から続く建学の精神である『愛郷・愛農の志ここに生きる』に基づき、すべての人や自然・動植物を愛する心を育てる教育を推進する。</p> <p>イ「明るく、楽しく、活力ある学校」の創造 自ら考え自ら行動できるよう何事にも建設的・前向きに取り組む精神を養い、生徒の自発的な意欲が学習活動・学校生活全般に生かされる学校運営に努める。</p> <p>ウ 安全・安心な学校づくり 生徒自らが、心身の安全を確保することのできる基礎的な資質・能力を育成することで安全教育の充実を図るとともに、教職員の危機管理能力の向上に努め、安全・安心な学校づくりを行う。</p>
<p>(2) 本年度の重点目標</p> <p>ア 生徒の学力・人間性・体力を伸ばし、社会から信頼される人づくり（生徒が伸びる学校） イ 地域と連携し、地域と共に歩む開かれた学校づくり（地域に愛される学校） ウ 教育のプロとしての教職員の資質の向上（教職員も伸びる学校） エ 未来への土台作り（安定した学校）</p>
<p>学校自己評価結果（4：すごく思う・すごくできている、3：思う・できている、 2：あまり思わない・あまりできていない、1：全く思わない・全くできていない）</p> <p>平均点として点数化している。評価（ A：3.3以上、B：3.2～2.5、C：2.4～1.8、D：1.7以下 ）</p>

ア 生徒の学力・人間性・体力を伸ばし、社会から信頼される人づくり（生徒が伸びる学校）

No.	実践項目	点数	評価
1	1年生の各生徒の個に応じた指導ができていますか。	3.0	B
2	生徒が主体的に授業に取り組むための工夫ができていますか。	3.0	B
3	進路HRなどを通して進路に関する情報提供や、意識を高めていく指導ができていますか。	3.2	B
4	学校行事において、生徒自身が計画や準備の段階から参加できるような指導ができていますか。	2.9	B
5	本校の教育活動を通し、生徒に充実感を味わわせることにつながる指導ができましたか。	3.3	A
6	生徒の進路実現に向けた進路指導体制が整っていますか。	3.4	A
7	生徒が主体となり、学校行事に参加し、運営できるような指導ができましたか。	3.0	B
8	生徒に対して個性に応じたきめ細かな指導ができていますか。	3.0	B
9	授業等で発表をするための指導ができましたか。	3.3	A
10	生徒が安心して学校生活を送るために、いじめ、不登校の防止に努めましたか。	3.1	B
11	保健だよりの発行や健康管理の指導などを通して、健康を向上させるための指導ができましたか。	3.1	B
12	特別な支援が必要な生徒に対しての相談や専門家の意見を反映した指導ができましたか。	3.0	B

イ 他地域と連携し、地域と共に歩む開かれた学校づくり（地域に愛される学校）

No.	実践項目	点数	評価
13	高校生活を通して、地域に貢献できるような活動に参加できるような指導ができましたか。	3.0	B
14	防災教育を通して防災に関心を持たせる指導ができましたか。	2.9	B
15	学校の施設の清掃整備を行い、学校の環境美化を推奨できましたか。	2.7	B

ウ 教育のプロとしての教職員の資質向上（教職員も伸びる学校）

No.	実践項目	点数	評価
16	ICTを活用した授業により、主体的・対話的で深い学びができていますか。	3.1	B
17	教科「農業」の学習を通して、生徒に自身をつけさせることができていますか。	3.1	B
18	類型選択に向けて各類型学習の内容等を生徒に理解させることができていますか。	3.2	B
19	類型学習を通して、生徒に自信をつけさせることができていますか。	3.2	B
20	実習を通して、生徒に責任感を身に付けられるような指導ができていますか。	3.1	B
21	「課題研究」等の類型学習では、生徒の充実した取り組みにつながる指導ができていますか。	3.3	A
22	「現場実習」では、生徒のキャリア発達を促す指導ができていますか。	3.2	B

エ 未来への土台作り（安定した学校）

No.	実践項目	点数	評価
23	進路学習を通し、生徒自身の進路について相談に乗ることができましたか。	3.2	B
24	学校生活の中で、生徒に職業について考えさせることができましたか。	3.2	B

学校関係者評価

- ・全体を通して、学校の教育目標の達成に向けたよい取組がなされている。
- ・学年が上がるにつれて評価が高くなっており、伸び率ナンバーワンの学校であると言えるのではないか。
- ・地域とつながる活動が多く実践されており、ふるさとを愛する心を育む機会となっている。
- ・多くの生徒にキャンパスカウンセリングが実施されているのは、小規模校の利点である。その効果は学習指導や生徒指導につながると考えられる。
- ・課題研究の内容が学校内だけでなく、関係機関や一般企業と連携している点が素晴らしい。
- ・成果発表会のように自分の意見を述べる場面は、生徒の学びにとってとても大事な機会である。是非、継続させて欲しい。
- ・新しい取組であるラジオ番組への出演は、今までのテレビ出演、新聞記事掲載に加えて、学校や市のPRにもなり、是非、継続させて欲しい。